

令和元年度 園芸研究所研究成果発表会を開催

令和元年8月29日に当研究所において、「令和元年度 園芸研究所研究成果発表会および特別講演」を開催しました。野菜・花き栽培に携わっている生産者、指導者など関係機関の皆様にも、園芸研究所が開発した研究成果を紹介するとともに、難防除と言われている土壌病害に対して知見が豊富な専門家を招聘し、特別講演を行いました。

研究成果の紹介では、花き課 島 副主幹研究員が「秋冬季ストックの安定生産技術について」、野菜課 浅井 主任研究員が「越冬タマネギの耐雪性とフルクタンとの関係について」発表しました。また、特別講演では、(公財)園芸植物育種研究所 研究開発部 環境科科長の門馬 法明 氏を講師として招き、「土壌還元消毒を軸とした病害管理技術について」講演いただき、関係者と意見交換を行いました。

参加者からは、「産地では既に研究成果を活用しており、タマネギの越冬率が向上した」などの意見もあり、熱心に発表会に聞き入る様子がうかがえました。



研究成果発表の様子



特別講演の様子